



下小国たかのこ地区環境公共推進協議会による「ため池」の生き物調査

下小国たかのこ地区 農村地域防災減災事業（ため池整備事業）／外ヶ浜町

本ため池は、度重なる地震や豪雨等の自然的要因によって、取水施設の斜樋のコンクリート両側が洗掘され、底樋管周辺では漏水により管出口付近の土砂が流出するなどの機能低下が見られていました。

また、地質調査の結果、堤体基礎地盤の強度が不足しているため、地震時には液状化により堤体崩壊の危険性があることが判明しました。

このため、農地や農業用施設への影響に加え、災害を未然に防止し、農業用水の安定供給を図るため、早急に改修することとしました。

本ため池では、事業採択前年度（H25）に、下小国たかのこ地区環境公共推進協議会を設立し、H26年9月30日に同協議会によるため池の生き物調査が実施されています。

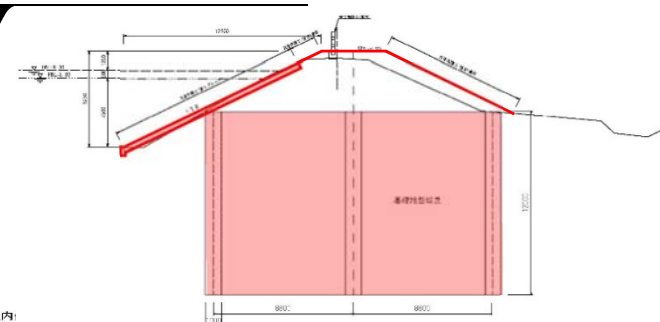
事業概要

受益面積	69.6ha
工 期	H26～H29
工 事 費	223,000 千円
工事内容	ため池整備 N=1 式



工事の概要

1 標準断面図



2 現況写真



主な取組内容

地域力の再生

事業実施にあたり、下小国たかのこ地区環境公共推進協議会を設立。（平成25年12月19日）

営農組合の他、町内会、子供会、花壇グループ等も加わり、整備構想から完成後の日常管理まで参加することとしています。



農林水の連携

今後、協議会での話し合いを基本に、県産木材を使用した転落防止柵を設置する予定としています。

環境の保全・再生

工事施工を踏まえ、ため池の生態系を確認するため、下小国たかのこ地区環境公共推進協議会による生き物調査を実施しました。捕獲したコイ、ウナギ、ヌマエビ等については近接のため池に一時的に移住させています。

